



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.12

地域連携病院⑦「博愛記念病院」

今回は、在宅医療に力を入れている博愛記念病院を紹介します。

■ 365日24時間体制で患者さんをサポート

博愛記念病院は、徳島大学病院などの急性期病院を退院した患者さんを受け入れ、質の高いリハビリテーションを提供した上で、患者さんが安心してご自宅で生活できるよう支援する長期急性期の機能を備えた病院です。医療はもちろんのこと、福祉や介護面からのサービスも含め、在宅医療をバックアップしています。平成24年4月から厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」の委託を受け、在宅で治療されている患者さんを支える病院の拠点となりました。入院が必要となった患者さんと後方支援病院をつなぐ窓口として、365日24時間体制で取り組んでいます。患者さんの重症度を判断し、かつ患者さんのご自宅に近い後方支援病院と連絡を取り合っ、直ちに入院先を決定します。このような取り組みを「後方支援病院緊急ネット(Back Bed Emergency Net略してBBEN)」といい、自宅で療養されている患者さんが安心して生活できるための心強い支えとなっています。

また、入院以外にも相談をお受けする「在宅さぽーとネット徳島」を開設しています。

■ 充実したリハビリテーション

総合リハビリテーションセンターでは、少しでも早くご自宅で生活できるよう、多くの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が集中的に、かつ充実したリハビリを行っています。入院時にご自宅の玄関、階段といった日頃生活している現場の様子について調査し、退院に向け自宅環境を整え、ご家族と多職種のスタッフが連携して、生活環境に沿ったリハビリテーションの提供を心がけています。全国でも珍しいリハビリスタッフによる24時間体制のリハビリを行うことで、入院期間の短縮や、在宅復帰率向上に貢献しています。最後に、元木副院長は「患者さんの早期回復を目指して、多職種間の連携を強め、適切な治療を迅速に行いたい」、藤川副院長は「地域の皆さんや病院関係者から信頼される病院を目指し、全職員のレベルアップに努めていきたい」と語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■説明は、

- ・元木 由美(もとき ゆみ)
副院長(左下)
- ・藤川 和也(ふじかわ かずや)
副院長(右上)
- ・池村 健(いけむら たけし)
理学療法士(左上)
- ・谷澤 春香(たにざわ はるか)
社会福祉士(右下)

■問い合わせ

在宅医療連携拠点病院
医療法人 平成博愛会
博愛記念病院
徳島市勝占町惣田9番地
TEL:088-669-2166